



希望 光 明日

学校だより 令和6年7月2日 校長 大澤由美子

[学校教育目標]
心豊かな生徒
意欲的に学ぶ生徒
たくましく生きる生徒

努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る

この言葉は、作家の井上靖さんの言葉です。言い換えれば希望を語れる人は努力をされていて、不満を語っていれば怠けている場合が多いということにもなるのだと思います。

1学期も残りわずかとなりました。私自身「語る言葉は不満ではなく希望」という日々でしめくりたいと思っています。辛い時や苦しい時もあり、不満を言うことも時にはあるかもしれません。それでも、語られた言葉の多くは希望であったと言えるようにしたいと思います。一日一日が人生の大切な時間であると考え、不満ばかり語る毎日ではあまりにも残念です。そして、それが自分が怠けていることから出た言葉であるならなおさら残念です。「自分はこうなりたい。こうしたい。それを叶えるために自分がすることは何か。自分にできることは何か」を考え、一つ一つ実行していきたいと思っています。希望をもって前に向かって一生懸命取り組んでいると、自ずと不満からは遠ざかっていく気がします。

令和4年度に、学校だよりのタイトルを「希望 光 明日」としました。これは、校歌の歌詞からとったものです。1番から3番までの最後「川越西中 ○○あり」の部分の言葉です。1学期を終えるにあたり、この中の「希望」をテーマに取り上げました。年度当初から多くの希望が語られる毎日をここまで積み上げてきたのではないかと思います。日頃から感じている本校生徒の特に素晴らしいところは、一生懸命であること、前向きであること、素直であることです。個人も集団も「より良く」という意識のもと努力を重ね、頑張っています。7月も希望をたくさん語って1学期をしめくくってほしいと思っています。

1 緑つらなる 山なみはるか
むさしのの里 あらたなる
春の小川の 水ぬるむ
ほとりに建てる われら園
川越西中 希望あり

2 水面にあそぶ 白さぎのむれ
丘は美し すこやかな
心とからだ みがく知恵
伸びゆく力 われら友
川越西中 光あり

3 風にふかれて たえる草花
おしまぬ汗の はぐみよ
むくいることの うれしさに
生きるよろこび 強い意志
川越西中 明日あり

(川越西中学校 校歌)